

至誠館大学

科目名	社会福祉援助技術演習Ⅱ(後半)			コード	1511	
英語表記	Seminar in social work practice Ⅱ					
担当教員名	梅木 幹司			年度	平成28年度	
基準年次	3年次	開講期	後期	単位数	2	
授業形態		授業形式	演習	履修形態	社会福祉	
授業概要						
本演習では、社会福祉援助技術演習Ⅰの内容を踏まえ、より実践的な内容による演習の展開を行なう。ロールプレイングでは、各テーマ別による援助場面を想定した内容とし、ソーシャルワークの展開過程をしっかりと理解し、ターミネーションまでの展開過程を意識的に実践できるよう理解と習得を目指す。また、コミュニティワーカーとしての目的や役割を理解するために実践的な技術と方法について習得する。						
到達目標						
・ソーシャルワークの展開過程について理解する。						
・援助場面を想定したロールプレイングにより援助実践について理解できる。						
・地域の課題を把握し、コミュニティソーシャルワーカーの役割について理解できる。						
授業計画						
第1回	ロールプレイング等Ⅶ ～(権利擁護活動) ロールプレイング等による援助の理解①～					
第2回	ロールプレイング等Ⅶ ～(権利擁護活動) ロールプレイング等による援助の理解②～					
第3回	地域福祉の基盤 ～地域福祉の基盤と開発について事例及び見学等①～					
第4回	地域福祉の基盤 ～地域福祉の基盤と開発について事例及び見学等②～					
第5回	地域福祉の課題 ～地域住民に対するアウトリーチとニーズ把握の方法①～					
第6回	地域福祉の課題 ～地域住民に対するアウトリーチとニーズ把握の方法①～					
第7回	地域福祉計画 ～地域福祉の現状と課題にもとづく計画の実際①～					
第8回	地域福祉計画 ～地域福祉の現状と課題にもとづく計画の実際②～					
第9回	ネットワーキング ～ネットワーキングの実践の理解①～					
第10回	ネットワーキング ～ネットワーキングの実践の理解②～					
第11回	社会資源の活用等 ～社会資源の活用・調整・開発の多様性①～					
第12回	社会資源の活用等 ～社会資源の活用・調整・開発の多様性②～					
第13回	サービス評価 ～各種サービスの評価方法等の理解①～					
第14回	サービス評価 ～各種サービスの評価方法等の理解②～					
第15回	まとめ ～社会福祉援助技術演習Ⅱについてのまとめ～					
評価方法と基準		評価項目と割合(%)				
欠席については認めない。授業態度、レポートならびに試験(発表)により総合的に評価を行なう。試験については、実践的な理解度を重視する。演習科目であるため積極的な授業参画を重要視した評価とする。		出席	授業態度	レポート	期末試験	その他
		0	40	10	50	0
授業外学習		テキスト、教材				
		「社会福祉士 相談援助演習」中央法規出版				
参考書		受講生へのメッセージ				
授業の中で適宜紹介する。		社会福祉士指定科目であるため、国家試験受験を予定している人は必ず履修すること。本演習では欠席を認めないため、やむを得ない欠席の場合は、補習を課すことにより欠席分を補う。				
キーワード						
ロールプレイング ソーシャルワークの展開過程 地域福祉 ネットワーキング サービス評価						